

平成 2 0 年度  
第 3 期 新南陽地区地域審議会  
会 議 録

日 時 : 平成 2 0 年 5 月 1 2 日 ( 月 )  
場 所 : 新南陽庁舎

## 【会 議 次 第】

- 1 開会
- 2 市民憲章唱和
- 3 委員自己紹介
- 4 事務局自己紹介
- 5 議事
  - ( 1 ) 新市建設計画の進捗状況調査報告について
  - ( 2 ) 今後の審議会の運営について
- 6 閉会

平成20年度 第3期新南陽地区地域審議会 会議録

日 時 平成20年5月12日(月) 開会 午前10時00分  
閉会 午前11時30分

場 所 新南陽庁舎 4階41会議室

出席者 ・委員 12名 (欠席 3名)  
吉岡 清忠、松原 国子、友弘 育枝、吉賀 昭美、吉谷川 亮、  
平岡 正夫、多田 道馨、山根 光正、福田 裕子、山崎 勝幸、  
國澤 千佳子、岸 義武  
・事務局 7名  
山下総合政策部長、原田企画課課長補佐、中村(充)主任、  
宮川新南陽総合支所長、三浦支所次長兼地域政策課長、足立課長補  
佐、中村主査

資 料 会議次第  
新市建設計画進捗状況調査報告書

会 議 議 事 録

1 開会

2 市民憲章唱和

3 委員自己紹介

12人(欠席3人)

4 事務局自己紹介

5 議事

(1) 新市建設計画の進捗状況調査報告について

会長

まずは、新市建設計画の進捗状況について、事務局の方から説明をいただきたい。

事務局

平成15年に合併して5年。合併の際につくった新市建設計画のその後の状況について調査をし、まとめ上げました。後半に向かったの検証ということで、各地域審議会のみなさんにお示しし、この度まとめ上げたものを簡単に説明させていただきます。

調査の概要ですが、合併時、10年間の計画を立て、これに基づきまちづくりをすすめるというスタートを切りました。5年が経過する中で、合併当初とは違う状況が出てきて、計画通り進んでいないのではないかというご意見をいただいています。新市建設計画の中には、たくさんのソフト、ハード事業がありますが、今回はハード事業についての進捗状況を調査し、まとめました。

新市建設計画は、2市2町の4つの総合計画を合わせて、また国、県、関係機関等の事業や広域行政などを踏まえてつくりました。

事業計画では、リーディングプロジェクト21など、ハード、ソフトいろいろな事業が盛り込まれています。財政計画では、新市の財政運営の指標ということで歳入・歳出の計画を立てています。

今回、1つ1つのハード事業の結果・進捗状況を示しています。分析として、国の三位一体の改革が平成16年度から実施され、交付税の削減などが行われています。新市建設計画ができたのが平成14年ですので、そのときの財政計画と今の状況は大きく違っています。計画と現状にかい離があるのは、そうしたことが原因ではないでしょうか。

大きな事業についてですが、リサイクルプラザ、給食センター、駅周辺の整備事業等には相当の計画期間があります。実際には進んでいますが、契約や検討に時間をかけている関係で、すぐに工事にとりかかるなど、目に見える形にまだなっていないのが現状としてあります。

合併後は、平成17年度からまちづくり総合計画がスタートし、新市建設計画以外の事業もたくさん入っています。

## 各ページについての説明

### 事業計画について

### 財政計画について

#### 会長

説明を受けて、ご意見がありましたら、お願いします。

#### 委員

資料の実施場所ですが、対象地区と想定地区とはどう違うのでしょうか？以前は想定地区だったと思いますが。

#### 事務局

新市建設計画では、想定地区という書き方がしてありますが、現時点では、概ね事業

の場所は決まっております。

たとえば、学び交流プラザであれば、場所的には新南陽地区ですが、事業の性格として周南市全体の総合学習の場という位置づけですので、対象地区としては、全市にわたるものであります。

委員

学び交流プラザを新南陽地区につくることには間違いありませんか？

事務局

この場で何度もお話しておりますが、それには間違いありません。

委員

計画の1部をよそに持っていくことはないですね。

事務局

ありません。

委員

今後の審議会の運営の話になりますが、私たちの新しい提案もこの審議会でできるのでしょうか？

会長

行政環境が変わってきていますので、それに合わせて我々も色々な提案を新たにしていきたい。

事務局

これから企画の方で、後期（22年～26年）の5ヶ年の基本計画を作っていきます。どこまで出来てどれが出来ていないのか、未着手の事業を後期の基本計画にあげるのか、未着手の事業は本当に必要なのか、また、計画にない新しい事業をやるのか、いろいろなことを見直していかなくてはいけない。みなさまには、これらの検証、提言を地域審議会をお願いしたいと思います。

委員

未着工が多いのは、なにかの状況・理由があつてのことと思う。未着工の事業については、十分検討が必要ではないか。

学び交流プラザについても、何度も要望が出ているのに、進展の様子がない。未着工についての状況の説明があればいい。

会長

未着手が非常に多い、とくに大きな理想を持ったものに多い。合併して、国政の色々な影響があって、先ほども、歳入が非常に落ちてきているとの説明がありました。

今、周南市の財政として、これからどういう費用が使えるのでしょうか？そういう説明を是非お願いしたい。わけの分からない未着手は不信を生むだけではないでしょうか。理由はあると思いますが、どうでしょうか。

事務局

財政的な裏づけをきちんと説明しながら、後期の計画の中に盛り込んでいくべきか、中断なのかということも含めて、みなさんには検証、検討をお願いしたい。

委員

施政方針の概要を広報でみると、学び交流プラザについては、全然触れていない。

事務局

学び交流プラザは、生涯学習の拠点です。教育委員会サイドでも新市建設計画の中の位置づけをきちんと理解しています。今後は進んでいくと期待しています。もう少しお待ちいただけたらと思います。

委員

学び交流プラザについては、19年度中に方向性を出すとはっきり言われた。もう20年度に入っているのだから、方向性を出していただきたい。

事務局

作業がおくれているようです。教育委員会の中でも検討チームを作り、会議もやっています。

委員

新南陽にとっては、唯一非常に大きいプロジェクトで、他と比較にならない。柱になるものはきちんとやっていただきたい。

会長

答をスケジュール通りに出していただくことが、信頼関係につながると思います。ぜひお願いしたい。

事務局

検討の結果をきちんとお示しできるように、担当課にきちんと話します。

委員

できたら、次回の審議会に教育委員会の担当者の出席をお願いしたい。

事務局

出席するよう伝えます。

委員

方向性が出来たら、今度はソフト面の提案ができると思う。

委員

富田地区コミュニティセンターについてですが、これの計画と学び交流プラザは同じ建物の中に入る計画ですか？

事務局

富田地区コミュニティセンターというのが、計画の中に未着手で挙がっています。用地は、三世代交流センターの東側にありますが、富田西小校区のコミュニティセンターとして、すでに合併前に用地の確保をはかっていたという経緯があります。

ただ、今、周南市として「コミュニティセンター」というものに、どう取り組んでいくのかを考える必要がありますので、計画の中で未着手になっているのではないのでしょうか。

会長

今後の審議会の運営方法についてです。事務局がお願いしていたアンケートは、是非、市の方へ提出をお願いしたい。進捗状況調査報告に基づいて、後期の基本計画に向けて、是非新しい提案をしていきたい。皆さんのアンケートの結果が大切なバックボーンになります。市に意見をどう反映していくか、次回の会議をあまり遠くない先に開きたい。

事務局

市としては、今回の検証を第1回目として、最終的には後期の基本計画に反映していきたい。ただ、今はまだその段階ではなく、市民のみなさんの意見を、案という形で検証し、まとめていこうと考えています。財政的にも全ての事業ができるというのは難しい面がありますので、どういった事業が本当に必要なのかを踏まえてご意見をいただきたい。

会長

アンケートについては、出しっぱなしではなく、次回是非やりたいと思います。皆さまにはまとめたものを事前にお送りしたい。

事務局

今回の進捗状況の調査報告はハード面を中心に書いております。後期の計画の中には、学び交流プラザではどういう活動をするか、などソフト的なことも入ってくると思いますので、ハード面だけではなく、街のあり方等のソフト面でのご意見もいただけたらと思います。

事務局

次回は1ヵ月後、6月中旬を目途に調整させていただきます。

会長

本日はありがとうございました。

6 閉会